

ふくしまには 『ふくしまのいろ』がある

Fukushima has its own "Fukushima Colors"

—ふるさとの色を思い浮かべるとしたら、何色ですか？

子どもの頃から慣れ親しんだ風景の中には、懐かしくて、美味しくて、
変わらない、たくさんの色が息づいています。私たちは、福島県の風土や
文化を色濃く伝える色を選定し、『ふくしまのいろ』と名付けました。
選ばれた14色は次代に伝えたいものばかり。
素朴で優しい『ふくしまのいろ』を皆さまに。

When you think of the color of your hometown, what color do you think of?
A multitude of nostalgic, delicious, unchanging colors live within the
familiar landscape of your childhood. We have selected colors that express
the rich colors of Fukushima Prefecture's traditions and culture and titled
them, "The Colors of Fukushima." The chosen 14 colors are all items we
hope to communicate to the next generation. The simple and gentle "Colors
of Fukushima" are for you.



14 Fukushima Colors Pencil

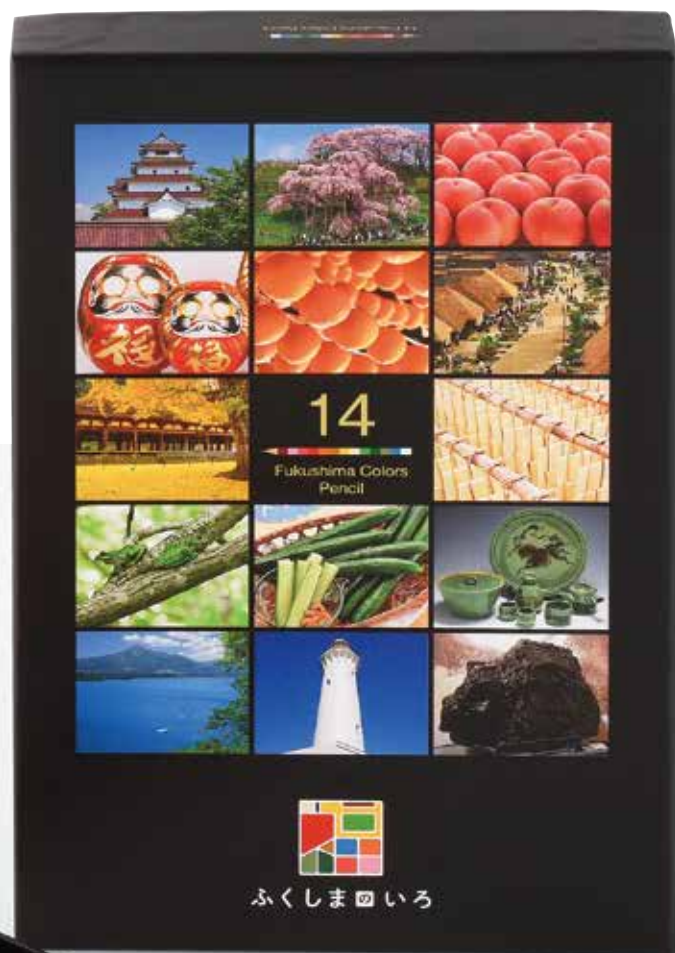
『ふくしまのいろ』色鉛筆限定発売

1箱: 14本入 定価 2,750円(税込)

福島県印刷工業組合



ふくしまのいろ



ふくしまの伝統色事業

～ふくしまの伝統色彩調査と色彩文化の保存・発信～

ふくしまの伝統色事業

～ふくしまの伝統色彩調査と色彩文化の保存・発信～

福島県印刷工業組合では、地域特有の色彩を調査し、後世に伝えていくことを目的に「ふくしまの伝統色事業」を展開し、選定された14色を「ふくしまのいろ」と名付けました。次代を創る子どもたちにも伝えていきたいと考えています。



ふくしまのいろ 1

つるがじょう

会津若松市 鶴ヶ城の赤瓦

昭和40年に復元された当時の鶴ヶ城は黒瓦でしたが、東日本大震災直後に市民からの寄付などで日本で唯一の赤瓦の天守閣として甦りました。会津人の心を映すやさしい色「つるがじょう」。



ふくしまのいろ 2

たきざくら

三春町 三春滝桜

この地で千年以上見事な花を咲かせる三春滝桜はエドヒガン系の紅しだれ桜。その美しさを最も堪能できるのは、五分咲きから八分咲きの頃がよいとも。ふくしまに春を告げる色「たきざくら」。



ふくしまのいろ 3

もも

福島市 もも

果物王国ふくしまの代表のひとつ、桃。無袋で作られている品種は、収穫期に畑の下に反射シートを敷き、美しい桃色になるように徹底管理しています。みんなを笑顔に変える美味しい色「もも」。



ふくしまのいろ 4

しらかわだるま

白河市 白河だるま

眉毛は鶴、ひげは亀、耳びんは松、顔の両側に梅、あごひげは竹を表すと言われる白河だるま。毎年2月11日の白河だるま市では、福を求める客で賑わいます。幸福を象徴する「しらかわだるま」。



ふくしまのいろ 5

あんぼがき

伊達市 あんぼ柿

一般的によく見られる黒ずんだ干し柿と異なり、あんぼ柿は硫黄燻蒸という独自の工程と山風の効果で、柿の色はそのままに中身はとろりとした餡色となるのが特徴。郷愁を誘う色「あんぼがき」。



ふくしまのいろ 6

おおうちじゅく

下郷町 大内宿の茅葺き屋根

江戸時代の宿場町の風景を今に残す大内宿。地区には「大内宿結の会」があり、会員が屋根葺きに携わるほか、地域文化の継承にも協力しています。ふるさとを想うやさしい色「おおうちじゅく」。



ふくしまのいろ 7

ながとこ

喜多方市
新宮熊野神社の大イチョウ

秋になると、新宮熊野神社の拝殿「長床」の前は、樹齢800年の大イチョウの落葉で埋め尽くされ、境内は見事な黄色の絨毯へと変わります。極上の秋を染め上げる幻想的な色「ながとこ」。



ふくしまのいろ



ふくしまのいろ 8

しみどうふ

福島市 立子山の凍み豆腐

福島市の冬の風物詩、立子山の「凍み豆腐」。冬枯れの山あいで作られる凍み豆腐は、はじめは濃いオレンジ色ですが、乾燥するにつれて大豆色へと変わります。冬の陽を凝縮した色「しみどうふ」。



ふくしまのいろ 9

もりあおがえる

川内村 モリアオガエル

モリアオガエルの生息地、川内村の平伏沼。そのほとりに、草野心平の「うまわや 森の蛙は 阿武隈の平伏の沼へ 水楢のかげ」の歌碑が立ちます。夏を謳歌する色「もりあおがえる」。

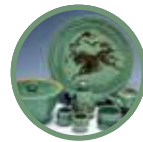


ふくしまのいろ 10

いわせきゅうり

須賀川市 岩瀬きゅうり

夏秋きゅうりで日本有数の生産量を誇る岩瀬きゅうり。須賀川市では、毎年7月14日にきゅうりのお祭り「きゅうり天王祭」が開かれています。暑い夏を乗り切る元気の色「いわせきゅうり」。



ふくしまのいろ 11

おおぼりそうまやき

浪江町 大堀相馬焼

素朴な味わいの「大堀相馬焼」。東日本大震災の影響で青磁釉の原料・砥山石が入手困難となりましたが、窯元と研究機関が協働し、色の再現に成功。伝統を未来につなぐ色「おおぼりそうまやき」。



ふくしまのいろ 12

いなわしろこ

猪苗代町・郡山市・会津若松市
猪苗代湖

別名「天鏡湖」といわれる猪苗代湖。開拓者たちの夢、安積疎水の完成によって、郡山市の農業・工業・商業は飛躍的な発展を遂げました。たくさんの夢を描き出すきらめきの色「いなわしろこ」。



ふくしまのいろ 13

しおやさきとうだい

いわき市 塩屋崎灯台

塩屋崎灯台は、太平洋戦争では戦いに見舞われて消灯しましたが、昭和25年に復旧。東日本大震災のときは、約9カ月後に再点灯しました。何度でも立ち上がる復興の色「しおやさきとうだい」。



ふくしまのいろ 14

せきたん

いわき市 常磐炭田の石炭

太平洋戦争後の復興期には「黒いダイヤ」と呼ばれた石炭。いわき市の常磐炭田も炭鉱の町として日本の復興をエネルギー面で大きく支えました。人々の夢を映し光り輝く希望の色「せきたん」。

福島県印刷工業組合

〒960-8164 福島県福島市八木田字神明94 TEL 024-544-1945 FAX 024-544-1946
http://www.f-pia.com/

